

公募助成「腎不全病態研究助成」研究サマリー

研究名称	腎性貧血の発症・進展に影響を与える間質・尿細管細胞由来エクソソームの解析
氏名	松浦 元一
所属機関	徳島大学病院 検査部
<p>糖尿病患者では、腎障害が比較的軽くても腎性貧血が早期に出現するが、その分子機序は不明な点が多い。貧血が進行すれば、糖尿病患者の入院や早期死亡など不良なアウトカムに至るリスクが上昇する。腎症は糖尿病患者の数十%にしか発症せず、genetic background の影響が大きいとされているが、正常な造血機能に不可欠な間質線維芽細胞、毛細血管、尿細管細胞などの尿細管間質の障害は、genetic な影響をあまり受けずに、代謝異常、低酸素、炎症などさまざまな要因を背景として起きると考えられている。</p> <p>本研究では、間質・尿細管細胞の受ける様々なストレス応答によるエクソソームの排泄解析を通して、この病態の解明を進める。糖尿病・非糖尿病 CKD 患者における腎性貧血の「発症前診断法」の樹立をめざし、外来通院中の患者より、通常採取される尿量からのエクソソーム抽出法を確立し、腎生検入院した糖尿病・非糖尿病 CKD 患者の、間質・尿細管障害の病理組織学的解析を元に、尿中エクソソーム内タンパク質プロファイルの比較とバイオマーカー候補の選定ならびに、尿中 exosome 内 RNA プロファイルの比較とバイオマーカー候補の選定を通して、腎性貧血の発症・進展の分子病態の解明を進めている。</p>	